

6 推進にむけて

(1) 県の取組

ユニバーサルデザインは、まち、施設、もの、サービス、情報など、幅広い生活環境を対象にしているため、県民、NPO(P54)、事業者、国、市町村等と連携しながら、総合的な施策展開を進めます。

県自身も、施設、物品、サービスを提供する事業者であることから、率先してユニバーサルデザインの取組を進めます。

また、国に対して、ユニバーサルデザインに関するガイドラインの作成や多彩な推進施策の展開を要請します。

県庁各部局の連携

各部局の取組にユニバーサルデザインの考え方を反映させるとともに、全庁的な推進組織として「山口県福祉のまちづくり推進委員会」を開催し、この下で各部局が連携し、全庁的なユニバーサルデザインへの取組を推進します。

また、山口県福祉のまちづくり推進委員会は、ユニバーサルデザインへの取組の進行管理を行います。

外部意見の反映

ユニバーサルデザインの推進に当たっては、山口県福祉のまちづくり推進協議会等外部委員による協議会等からの提言を受け、県の取組に反

えい ひつよう おう じぜんせつめいかい かいさい
映させるとともに、必要に応じて事前説明会の開催、パブリックコメン
トの実施等を通じ、県民の意見を反映させていきます。

じょうほうしゅうしゅう じょうほうていきよう 情報収集と情報提供

ちようさ けんきゆう たんとうしゃ こうりゆうどう じょうほう しゅうしゅう つと
調査・研究や、担当者の交流等による情報の収集に努めるとともに、
シンポジウムやフォーラム等の開催を通じ、県民への積極的な情報提供
を行います。

けんみん じぎょうしゃ くに しちようそんとう じょうほう いけんこうかん おこな
また、県民、NPO、事業者、国、市町村等と情報・意見交換を行い、
ユニバーサルデザイン推進についての協働を進めます。

(2) けんみん じぎょうしゃ しちようそんとう きたい 県民、NPO、事業者、市町村等への期待

けんみん きたい 県民への期待

だれ かいてき く すす
誰もが快適に暮らしていけるユニバーサルデザインのまちづくりを進
めるためには、一人ひとりがお互いを理解し、尊重し、思いやることが
たいせつ
大切です。

うえ かつどう ふくし どう さんか
その上でNPO・ボランティア活動、福祉のまちづくり等へ参加する
ことを期待します。

しやうひん せつきよくてき りよう
また、ユニバーサルデザイン商品の積極的な利用や、サンキューメー
ル(P56)等により事業者の活動を支援することなども考えられます。

NPO等への期待

非営利活動を行うNPO、社会福祉協議会等の団体に対しては、まちづくりや福祉の分野等における社会貢献活動を通じて、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する重要な担い手となるよう期待します。

事業者への期待

施設、製品、サービス、情報などの利用者は、誰もが、安全で快適に利用できる配慮を求めています。

事業者に対しては、様々な利用者が求めている配慮を行った施設、製品、サービス、情報などの提供を期待します。

市町村への期待

ユニバーサルデザインへの取組に当たって、住民に一番身近な市町村への期待は大きいものがあります。市町村に対しては、各種サービスの提供など、具体的な取組を積極的に行うことを期待します。

また、市町村が地域住民の意見を取り入れながら、事業者、市町村民と連携して、計画的なまちづくりを進めることを期待します。